

平成 27 年度 第 2 回 水辺とみなとのまち 部会 会議概要	
日 時	平成 27 年 7 月 21 日 (火) 14:00 ~ 16:00
会 場	市役所 白山浦庁舎 6 号棟 2 階 203 室
出席委員	藤田委員, 大堀委員, 田村 (幸) 委員, 外内委員, 星野委員, 青木委員, 関谷委員, 豊嶋委員, 大坂委員, 渡辺委員, 小島委員
欠席委員	なし
事 務 局	小柳主幹, 外川副主査
議 題	前回の経過報告
会議内容	(1) 大坂委員・渡辺委員 自己紹介 (2) 藤田座長より前回の会議報告と本日の進行についての説明
議 題	平成 27 年度 水辺とみなとのまち部会の事業について意見交換
会議内容 及び 決定事項 等	<p>○ 1 年目の委員から部会や事業に対しての質問・疑問</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水辺とみなとの範囲は？ → 中央区内 ・パワースポット (流行) のマップ作りをしては？ → 下本町では QR コードを利用した観光情報案内のチラシを作成し, 駅やお店などに置く。 ・部会と下町の情報交換や関わりは？ → 平成 26 年度に下町にあるコミ協や団体代表者と意見交換をしている。 ・部会と市の関わりは？ → 自治協は区民と行政の協働の要。行政が単独で出来ない部分を自治協が区民の意見を聞き動く。行政の隙間を埋める役割がある。 ・新潟市は下町を観光の拠点として考えているか？ → 明確には示していないが, 宝がいっぱい詰まった大切な地域と考えている。2019 開港 150 周年祭に向けた活動につながる。 <p>その時々水に関わるテーマで事業を考えている。第 3 期は「鳥屋野潟」, 第 4 期は「北前船」, 今回は引き続き「北前船」を焦点に新潟の発展を考える。第 3 期の「鳥屋野潟」は新潟県にも提言書を渡し, 県に対しても市民・区民の声としてとても大切な役割を果たしている。</p> <p>○ 提言について (何をするか?) 「みなと新潟・北前船物語」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世代によって新潟の町の歴史観が違う。子どもたちに学びの機会を。 <p><案> 開港 150 年祭のきっかけ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・蒲原平野があつての湊 ・小須戸地区に国宝がある。 ・昔の風景を子どもたちに教える (建物...再建?)

	<ul style="list-style-type: none"> ・下町文化の掘り起し。町並みを学ぶ。 ・旧小澤家住宅に親子で泊まる。 ・早川掘つつじ祭りへ部会として参加。北前船にゆかりのある都市からも参加してもらおう。 ・金沢・富山（森家）との交流を通して先人たちの教育を学ぶ。 →2年後継続して行うようにする。 ・浅草観音像の調査 ・沼垂の文化（発酵）や西大畑ゾーンの調査 →沼垂三社神社 宮司さんのお話を聞く。 <p style="text-align: right;">以上</p>
その他	